

- 開館時間 9:00～17:15 (入館は16:45まで)
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日はその翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)
- ◆プラネタリウム臨時休演 10月2日(日)(11:40～の上映のみ休演) 10月4日(火)～5日(水)、11月8日(火)～10日(木)
- ◆全天周映画臨時休演 10月2日(日)(10:30～の上映のみ休演)、10月4日(火)～5日(水)

●入場料

区分	金額	個人	団体(20人以上)
科学展示室	おとな	410円	330円
	子ども(小・中学生、高校生)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	410円	330円
	子ども(小・中学生、高校生)	210円	170円
全天周映画	おとな	410円	330円
	子ども(小・中学生、高校生)	210円	170円
プラネタリウム+全天周映画	おとな	620円	490円
	子ども(小・中学生、高校生)	310円	250円

※幼児(ただし大人の保護者同伴のこと)、65歳以上は無料

【宇宙劇場】

ドーム直径21m、床傾斜25度、200座席。
プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ、中国地方でも最大級の科学シアターです。



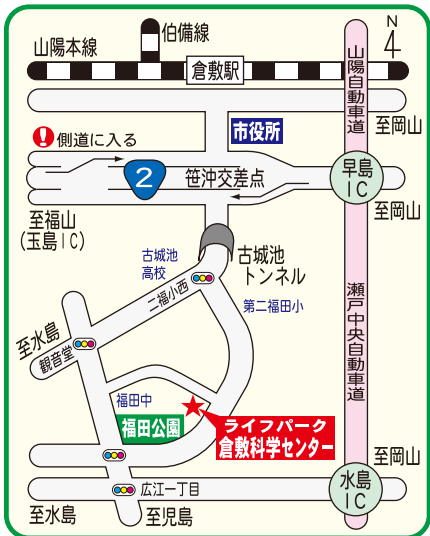
●宇宙劇場投映開始時刻

曜日/時刻	10:30	11:40	12:50	14:00	15:10	16:20
土・日・祝 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム はるか地球をのぞむ	全天周映画	プラネタリウム はるか地球をのぞむ
火～金	学習投映(学校団体優先) 10:00, 11:10, 13:10			全天周映画 はるか地球をのぞむ		

- ◆11:40～のプラネタリウムは別プログラムを上映します。
- ◆定員200名、各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
- ◆学習投映は学校団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめ電話にてご予約ください。

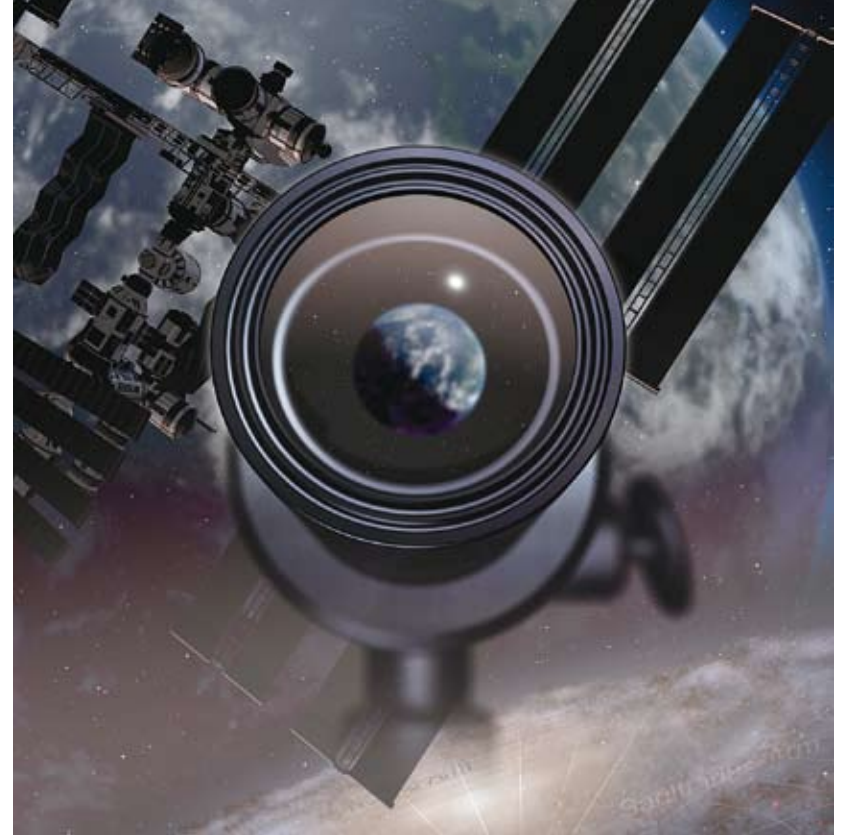
ACCESS

- ◆JR倉敷駅からタクシー 25分
- ◆JR倉敷駅からバス 25分
 - 下電バス
 - ・『大高経由JR児島駅行』
 - 福田中学校前下車・徒歩20分
- ◆国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ◆瀬戸中央自動車道 水島ICから車で15分
(広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)



倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>



宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題(今夜の星空解説含む)

ちきゅう
はるか地球をのぞむ

Vol.69 2016.7.8～2016.11.6



「今夜の星空」の解説

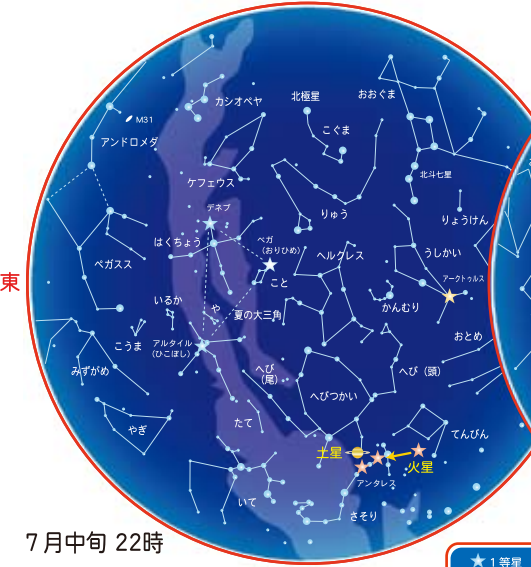
天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より

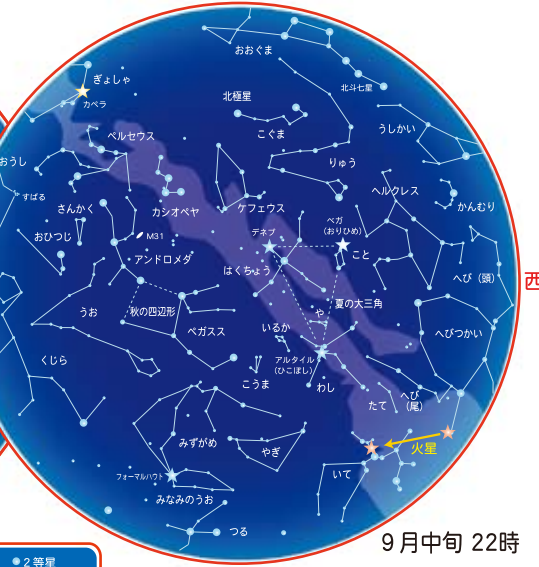


7-8月の星空



7月中旬 22時
8月中旬 20時

9-10月の星空



9月中旬 22時
10月中旬 20時

★ 1等星 ● 2等星
● 3等星 ● 4等星以下

はるか地球をのぞむ

上映期間 / 7月8日(金)~11月6日(日)

私たちは、この地球上から星の世界を見上げ、遠い宇宙に思いを馳せてきました。では、もし視線を逆転させ

小惑星イトカワのかけらを地球に持ち帰った探査機「はやぶさ」は、地球を飛びたったあと2度地球のそばを通過し、その姿を撮影しています。1度目はイトカワに到着する以前の2004年5月に地球の3700km上空を通過した時で、地球と月が並ぶ姿を1枚の画像(下)でとらえました。2度目は数々のトラブルを乗り越え2010年6月に地球に帰還し燃え尽きる直前のことでした。



(c)JAXA

て、宇宙の彼方から地球をながめたら… きっと私たちの知らない「宇宙の中の地球」が見えてくるはず。

そんな、はるか遠い地球の姿を通して、私たちの地球もこの広大な宇宙の一員であること。そしてまた、夜空の星たち一つ一つ

にも、私たちの地球や太陽と同じようなドラマがあることを実感できる旅へと出発しましょう。



(c)NASA

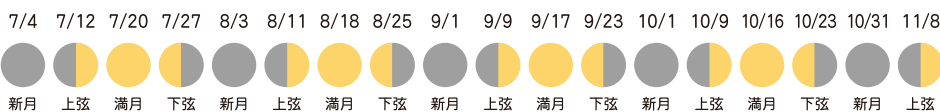
太陽系の外での惑星探しは、現在の天文学において新発見が相次いでいるホットなテーマのひとつです。ケプラー宇宙望遠鏡の活躍(画像下)もあり、これまでに発見された惑星の数は3400個を超え(2016年6月現在)、今後「第二の地球」と呼べる場所が発見される可能性もあります。そしてもし「だれか」が、はるかかなたから地球を観測していたら、どのようにみえるのか想像力はふくらみます。

声の出演
長南 翔太
制作協力・配給
合同会社スターライトスタジオ
制作・著作
山梨県立科学館

観測ガイド

- 8月 9日 = 伝統的七夕。(旧暦7月7日)
- 8月12日夜中~13日明け方 = ペルセウス座流星群の活動がピークを迎える。
- 8月24日 = さそり座の1等星アンタレスと火星、土星が一行に並ぶ。
- 8月28日 = おとめ座で木星と金星が0.5° まで接近。
- 9月15日 = 中秋の名月。(旧暦8月15日)

月の満ち欠け



次回のプラネタリウム新番組は 11/11(金) よりスタートです。